



CREATE HOPE  
in the WORLD

### 世界に希望を 生み出そう

2023-2024年度国際ロータリーのテーマ

国際ロータリー  
会長 ゴードン R. マッキナリー  
\*\*\*\*\*  
国際ロータリー第2670地区  
ガバナー 吉岡 宏美

◆例会日 毎週水曜日 12:30~13:30  
◆例会場 香川県善通寺市文京町 3-3-3  
(事務所) 善通寺商工会議所 2F  
TEL(0877)62-7627 FAX (0877)62-7656  
E-mail zen-rc@downtown21.gr.jp  
WEB <http://www.downtown21.gr.jp/zen-rc>

◆会 長  
香川 和久



◆幹 事  
白川 等



### 2023-24年度【会長運営方針】

変化に挑戦し、新たな時代へ歩み出そう



総本山善通寺五重塔

## 幹事報告

- \* 能登半島地震への支援金のお礼と報告書が届きました。3月25日付にて、2610地区へ総額8,338,000円送金したそうです。
- \* 樋笠会員の個展について 3/30(土)~4/7(日)10時~18時 ギャラリー多閑坊 チラシと主旨案内葉書は、刃札BOX前にありますのでお取りください。

## 出席報告 正会員数37名,名誉会員1名

(2024/3/6 現在) (出席免除会員(b)9名(a)1名)  
 3/27 (2695例会) 会員数 37名 出席会員 18名(5名)  
 欠席会員 10名  
 3/ 6 (2693例会) 会員数 37名 出席会員 17名(7名)  
 <修正>  
 メイクアップ 5名  
 兼岡 誠、山下安亮、白井 聡、安井一博、高畑光宏君  
 3/6 出席者 29名 出席率 85.29%  
 ビジター 0名

## お知らせ

★ **ゴルフ同好会よりお知らせ** 同好会会長 高畑  
 4月7日(日)の石原会員ホールインワン記念コンペの表彰式は、下記の通りです。  
 時間 18:00~  
 場所 松坂国道店



## 今月の例会プログラム 案

- 3月30日(土)←4月3日を変更  
12:00~ 善通寺市役所⑨北側広場  
善通寺ライオンズクラブとの合同花見例会
- 4月10日 客話 非営利活動法人  
ジャパンハート 吉岡 春菜 様
- 4月14日(日)←17日を変更 9:00~  
結婚記念祝日帰り旅行 神戸異人館
- 4月24日

## ニコニコBOX

- 辻村啓一君: 夫人誕生祝を頂いて
- 入江善久君: 創業祝を頂いて
- 白井 聡君: 創業祝を頂いて
- 田岡直博君: 地区研修協議会の報告を頂いて
- 細川督夫君: 米山委員会の報告をしましてよろしくお願ひします
- 橋本修洋君: 地区協議会の報告させて頂いて
- 香川和久君: 地区研修協議会の報告をさせて頂き有難うございます
- 高畑光宏君: 先日、地区研修協議会に参加させて頂きました。大変勉強になりました
- 高木誠一君: 地区協報告させて頂き有難うございます

# 4月は母子の健康月間

## 四つのテスト

(言行はこれに照らしてから)

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

## 地区研修協議会報告

>>会長・幹事・会計部門報告

次年度会長 田岡 直博



吉岡宏美ガバナー及び夏見良宏ガバナーエレクトから、RI会長方針及び地区運営方針について、説明がありました。

RI会長方針 「The Magic of Rotary」  
(ロータリーのマジック)

今後は、テーマ・ロゴの廃止  
3年計画の Action Plan (行動計画) の作成  
2670地区ガバナー方針

「impact をもたらそう青少年に夢を」

共同目標

優先事項① より大きなインパクトをもたらす  
→ ポリオの根絶、ロータリー財団への寄付、青少年に夢をプロジェクト

優先事項② 参加者の基盤を広げる  
→ DEI の促進、会員増強と新クラブ設立、公共イメージ向上の推進

優先事項③ 参加者の積極的なかわりを促す  
→ ロータリーファミリーの参加、ローターアクトクラブの協力とつながり

優先事項④ 適応力を高める  
→ インパクトをもたらそう、DEI 活動の推進、RLI の理解

クラブ3年計画の具体的目標の作成  
組織の簡素化 (20委員会→7委員会)

- 1 クラブ管理委員会
- 2 会員増強委員会
- 3 公共イメージ向上委員会
- 4 奉仕プロジェクト委員会 (職業・社会・社会・国際・青少年)

- 5 ロータリー財団委員会
- 6 米山記念奨学委員会
- 7 危機管理委員会

(会長・幹事・会計部の報告)

財務委員会から、2022-2023 の決算及び2023-2024 年の予算について、次のとおり説明がありました。

会計報告では、2022-2023 年の決算については財務委員会の承認が得られていない。

その理由は、2022-2023 年に予算を1000万円ぐらい超過執行してしまった。その結果、2021-2022 年の期末にあった繰越金2785万円(予算は2788万円)は、実際には、1716万円しかなかった(2023-2024 年見込みの前年度繰越)。

そして、2022-2023 年にも1000万円ぐらい超過執行したため、次年度繰越は745万円しかない(1716万円あるはずだった)。

更に、2023-2024 年度も超過執行しているため、現実には、期末の見込額は213万2572円になる見込みである(下半期見込み)。その上で、次の通り説明がありました。

- ・ 地区資金 半期4500円を6000円に増額
  - ・ 短期交換留学生2500円を3000円に増額
- 年間3,500円の増額になるということでした。これに対し、会場から反対意見が出たため、各クラブに意見照会をするということになりました。

>>会員増強維持、退会防止委員会部門

委員長 橋本 修洋

### ●世界ロータリーの現状

1903年、弱肉強食競争に明け暮れていた殺伐とした時代のシカゴで、4人(ポール・ハリス、ハイラム・ショーレー、シルベスター・シール、ガスターバス・ローア)で始めたロータリー運動も、今や世界200カ国以上の国に520地区3万6838クラブ、会員数は116万2389人(2023年7月現在)を擁する巨大組織に発展しました。しかし、一方、会員数は1996年を境に減少傾向となっており、特に日本はその傾向が顕著で、会員数も1996年11月の13万人をピークに現在では8.4万人と、実に25%の減少となり、今後、少子高齢社会の日本ではさらなる減少は避けられないでしょう。

### ●第2670地区の現状

第2670地区も2002年には3500人いた会員は2850人まで約2割減少しました。厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所による「日本の地域別将来推計人口」では、2050年の四国4県の総人口は約260万人で、2020年と比べて30%(109万6000人)減少することが推計されています。現状では、2045年頃には会員数は2000名を下回り、多くのクラブが若い会員のいない活気のないクラブとなるのでは、と危惧します。

### ●クラブの現状

# Zentsuji Rotary Club Weekly Report

実は、すでにクラブの活気が失われてきているのでは？と疑われる数字があります。日本のクラブは、1993年には1クラブ当たり在籍会員数平均が61名でしたが、2023年には38名に減少しています。又、1クラブ当たりの在籍会員数分布では、0～29人が44.5%で最も多く、次いで30～49人が33%と、なっています。2670地区では、0～29人が30クラブ、30～49人が24クラブ、50～99が20クラブとなっており、クラブが縮小しているのです。

会員増強について、法人、個人、JC卒業者の知人(男女)にアプローチする。また、RCの良いところをPRする。クラブは、あらゆる手段でメンバーに協力をお願いする。(イベント・会合での声掛け)退会防止については、例会時に、新会員には声掛けしてコミュニケーションを心がける。また、委員会主催で親睦会(飲酒を伴う)を開き、意見交換して記録して、週報に記載する。人数を少なく炉辺会合を多く企画する。クラブの資質向上を計り、先輩会員の指導が大切である。

## >>国際奉仕委員会部門

委員長 高木 誠一

国際奉仕委員会は、長期交換小委員会・短期交換小委員会・国際奉仕ファンド小委員会の3委員会があり、【長期交換】は通常1年間の交換学生の為のプログラムで来年度は、受け入れ4名・派遣4名を予定しています。【短期交換】は、3週間のホームステイや地域内の見学をする素晴らしいプログラムです。善通寺ロータリークラブは、短期交換プログラムに派遣学生の募集をして来ましたが、篠田委員長の挨拶で学校側に説明の際に、ただの留学・ホームステイだと思わずに、地域の代表として選ばれた学生が文化・社会交流をする素晴らしいプロジェクトだ、と説明して下さいとおっしゃっていました。【国際奉仕ファンド】では、来年も引き続き書き損じはがきキャンペーンへの寄付金募集と贈呈を進めて行きたいと言われていました。

## >>クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕部門

職業奉仕委員長 香川 和久

ペーパーレスにて開催(2024～25年度夏見ガバナーの強い要望による)の3部門合同での協議会は初めてだったと思います。各委員会等より活動内容と活動する上でのポイントについて、説明がありました。

## >職業奉仕部門 :担当委員長より

### 1. 地区委員会活動

①職業奉仕月間(1月)における各クラブ関連のプログラムに協力します。

#### 2. ポイント

① 職業奉仕の手引きについては、マイロータリーより取り出してみてください。

② 職業人としてのロータリアンの心構えを簡潔にまとめた「4つのテスト」はとても大切なものです。日頃の言行もこれに照らしていただきたい、とのことでした。

>社会奉仕部門 :担当委員長より

#### 1. 地区委員会活動

① 各クラブの社会奉仕活動を推進していきます。

② 公共イメージ向上DEI委員会とも連携し、各クラブの社会奉仕活動の認知度を高めていきたい。

#### 2. ポイント

① 地区のホームページに各クラブの活動内容がアップされています。

見ていただき、今後の各クラブでの活動の参考としてください。

② 地域に根差した奉仕活動をお願いしたい。

③ 地区及びグローバル補助金の有効活用を今後も進めていただきたい。

④ 本年度も各クラブへのアンケートとる予定です。

>クラブ奉仕部門 東(ひがし)パストガバナー

(クラブ奉仕カウンセラー)

#### 1. ポイント

① 各クラブの活動を考える上で、クラブの主体性・独自性は大切です。

② 寛容の精神こそ、ロータリーに不可欠なものである。

## >>青少年奉仕 部門

出席者白川代理 香川 和久

### 1. 地区委員会活動

① 公共イメージ向上DEI委員会とも連携し、各クラブの青少年奉仕活動の認知度を高めていきたい。

② インターアクトクラブの活動を支援していく。

③ 新たなインターアクトクラブの設立を目指していく。

④ RYLAプログラムへの会員の理解を深め、第2680地区との共同開催を実施する。

⑤ 青少年奉仕月間(5月)における各クラブ関連のプログラムに協力します。

⑥ 危機管理体制を確立する。

#### 2. ポイント

2024～25年度 第2670地区ガバナー方針「インパクトをもたらそう 青少年に夢を」に基づき、

① 次年度は青少年奉仕活動をこれまで以上に活性化・拡大化を目指していきます。

② ローターアクトクラブとの関わりを深め、ローターアクトの活動がより活発に有意義なものとなるようサポートを強化していきたい。

③ 幅広くローターアクトクラブの拡大を目指していく。

3. 地区内のローターアクトクラブへの提唱ロータークラブのサポート事例

\*現在ローターアクトクラブは7クラブ、提唱ロータリー

# Zentsuji Rotary Club Weekly Report

クラブは、17クラブある。

>> 公共イメージ向上 DEI 委員会 部門  
委員長代理 高畑 光宏

「ロータリー公共イメージ向上 DEI 委員会」に出席しましたので、その委員会の報告をさせていただきます。

2024-2025 年度のロータリー公共イメージ向上 DEI 委員会の活動としては以下の三点が挙げられました。

- ・ロータリーの公共イメージと認知度の向上を図る。
- ・社会奉仕委員会・国際奉仕委員会・青少年奉仕委員会等と連携しロータリーの認知度を高める。
- ・DEI に関する効果的なセミナーを実施する。

ちなみに、DEI とは以下の頭文字をとったものです。

D...DIVERSITY(ダイバシティ→多様性)

E...EQUITY(イクイティ→公平)

I...INCLUSION(インクルージョン→ 包括)

こうした活動について、委員長よりは現在、ロータリーの認知度は6割位(ライオンズは7割位)なので、認知度を高めて会員増強につなげたいとのことでした。具体的には災害等支援等の時流に乗った奉仕を行ったり、四国八十八ヶ所ポリオ根絶祈願等を行ったりしたい、これまでの地区懇親ゴルフ大会をポリオ根絶チャリティゴルフ大会として開催したい等との話が出ました。

また、副委員長からは青少年にインパクトのある活動を SNS で発信していきたいので、是非、各クラブから活動情報として、具体的には、写真2枚、ショート動画 1 点、文書は簡潔に下記までにとということです。

Mail: ri2670it@gmail.com >

>> 米山奨学部門 担当 細川 督夫

3月17日(日)JR ホテルクラメント高松 2F 会場にて、米山記念奨学委員会が行われました、カウンセラー徳島プリンスクラブの稲山 三治さん。委員長高松東クラブの森 和夫さん。小委員長は当善通寺クラブの葛石 智さん、SAA 尾崎 浩太郎さんでした。

- 1, 委員長挨拶 奨学委員長の手引き説明
- 2, 葛石小委員長の説明

私が興味を持つことは、単立った米山学友 2 万人を超える。奨学生と学友の出身国は、累計で 131 の国と地域に及びます。

海外には台湾、韓国、中国、タイ、ネパール、モンゴル、スリランカ、マレーシア、ミャンマー、ベトナム(ホーチミン)と、合計 10 地域に米山学友会があります。

米山学友を中心に設立されたクラブ初めてのロータリークラブは、1995 年創立の台北東海 RC です。今でも日本語を公用語として、日本との親善交流に尽力しています。続いて 2007 年に、やはり台湾で台中文心 RC が誕生しました。(公用語は中国語だそうです)。東京米山友愛 RC (2750)、さいたま大空 RC (2770)、茨城ロータリー E クラブ(2820)、衛星クラブは、多数の

クラブが誕生し活躍しております。

ロータリー会員になった元米山奨学生は 292 人。(2023 年 7 月末現在) ガバナーになった者は、3 人おられるそうです。このような素晴らしい米山記念奨学生、そして学友会が衛星クラブと交流を深めてロータリー会員になられ、多くの方がガバナーになられる姿が目につかふ思いであります。



2024-2025 年度国際ロータリーのテーマ

